

[スポーツレガシーシリーズ VOL.4]

スポーツ科学の可能性とその限界

— 実践としてのスポーツ科学 —

130年を超す歴史を持つ専修大学は、スポーツの強豪校としても知られている。中でもスピードスケート部はオリンピックや世界選手権のメダリストをはじめとする数々の名選手を輩出し、世界的にもその名を轟かせている。スピードスケート部を世界レベルにまで到達させたのが、前嶋孝氏（法学部教授）である。前嶋氏は最先端の運動生理学を競技現場に取り入れて選手の強化を図り、近年では常識的になってきている低酸素トレーニングにも世界に先駆けて競技現場に導入した。専修大学5号館にある「常圧低酸素トレーニング室」は、現在もスピードスケートをはじめとする体育会の学生が活用し、成果をあげている。第1部では、「世界への挑戦 専修大学スピードスケート部とともに」と題し、これまで専修大学で築き上げきた前嶋氏のレガシーを振り返る。

第2部では、ゲストに結城匡啓氏（信州大学）と杉田正明氏（三重大大学）を迎え、前嶋氏とともにディスカッションを行う。結城氏はバンクーバーオリンピックのメダリストを育てた指導者であり、杉田氏はJOCの科学サポート部門長として、オリンピックをはじめとする国際競技大会医科学サポートのスペシャリストの一人である。両氏と前嶋教授を交えたシンポジウムでは「スポーツ科学の可能性と限界—現場での科学」と題し、日本で有数の指導者・研究者によるディスカッションを行い、現在のスポーツ界が抱える問題について競技現場と科学者の立場から明らかにしていきたい。

————— プログラム —————

◎第一部 基調講演 16:30～17:35

『世界への挑戦 専修大学スピードスケート部とともに』 前嶋 孝 氏（専修大学法学部教授）

◎第二部 シンポジウム 17:45～18:55

『スポーツ科学の可能性と限界—現場での科学』

シンポジスト 前嶋 孝 氏（専修大学教授／元冬季オリンピックスピードスケート代表コーチ）

結城匡啓 氏（信州大学教授／日本スケート連盟スピードスケート強化副部長）

杉田正明 氏（三重大大学教授／日本オリンピック委員会科学サポート部門長）

コーディネーター 久木留 毅 氏（専修大学准教授／日本オリンピック委員会情報戦略部門長）

————— シンポジスト紹介 —————



前嶋 孝（まえしま たかし）氏 専修大学法学部教授／元専修大学社会体育研究所所長

1941年長野県生まれ。65年専修大学を卒業。順天堂大学大学院を経て、77年専修大学講師、84年より現職となる。運動生理学専攻。スピードスケートに関して、イメージトレーニング中の生理的反応などを研究、実践に応用。78年から同大学スピードスケート部監督を務め、八年連続日本一に導くとともに、多くのオリンピック選手を育てている。著作に「成功するためのイメージトレーニング（ゴマブックス）」「勝つためのイメージトレーニング法 成功を呼ぶ5条件をどうつくり出すか（ごま書房）」「乳酸をどう活かすか（杏林書院）」「高所トレーニングの科学（杏林書院）」などがある。



結城匡啓（ゆうき まさひろ）氏 信州大学教育学部教授／日本スケート連盟スピードスケート強化副部長

1965年北海道生まれ。89年筑波大学を卒業。筑波大学大学院を経て、99年信州大学講師、現在は教授。スポーツバイオメカニクス専攻。スピードスケートのコーチとして、オリンピックメダリストを育てる。科学的サポートによるスポーツの競技力向上に関する研究の若手の第一人者であり、文部科学大臣スポーツ功労者顕彰（2010）、文部科学大臣国際競技大会優秀者表彰（2009）など、数々の受賞歴を持つ。氏も選手としてスピードスケートワールドカップ500mで第3位の入賞歴がある。著書に「スポーツバイオメカニクス（朝倉書店）」などがある。



杉田正明（すぎた まさあき）氏 三重大大学教育学部教授／日本オリンピック委員会科学サポート部門長

1966年生まれ。三重大大学大学院修了後、1991年～東京大学教養学部助手、東京大学大学院総合文化研究科助手を経て、現職。文部科学省・2012年ロンドンオリンピック強化支援の検討に関する懇談会委員、文部科学省・競技者育成プログラム普及促進連絡会議委員および企画部会部会員、高所トレーニング環境システム研究会専門委員、（財）日本陸連科学委員会副委員長等を務める。サッカーワールドカップ南アフリカ大会において、日本代表チームのコンディショニングサポートを成功させ、ベスト16に躍進させたことでも知られる。著書に「サッカーのコンディショニング（大修館書店）」「スプリントトレーニング（朝倉書店）」などがある。

日 時：平成23年10月13日（木） 16:30～19:00

場 所：専修大学生田校舎10号館10301教室（参加費無料）

向ヶ丘遊園駅（小田急線）北口よりバスで約10分

問い合わせ：社会体育研究所（sports@isc.senshu-u.ac.jp/044-911-1032）

